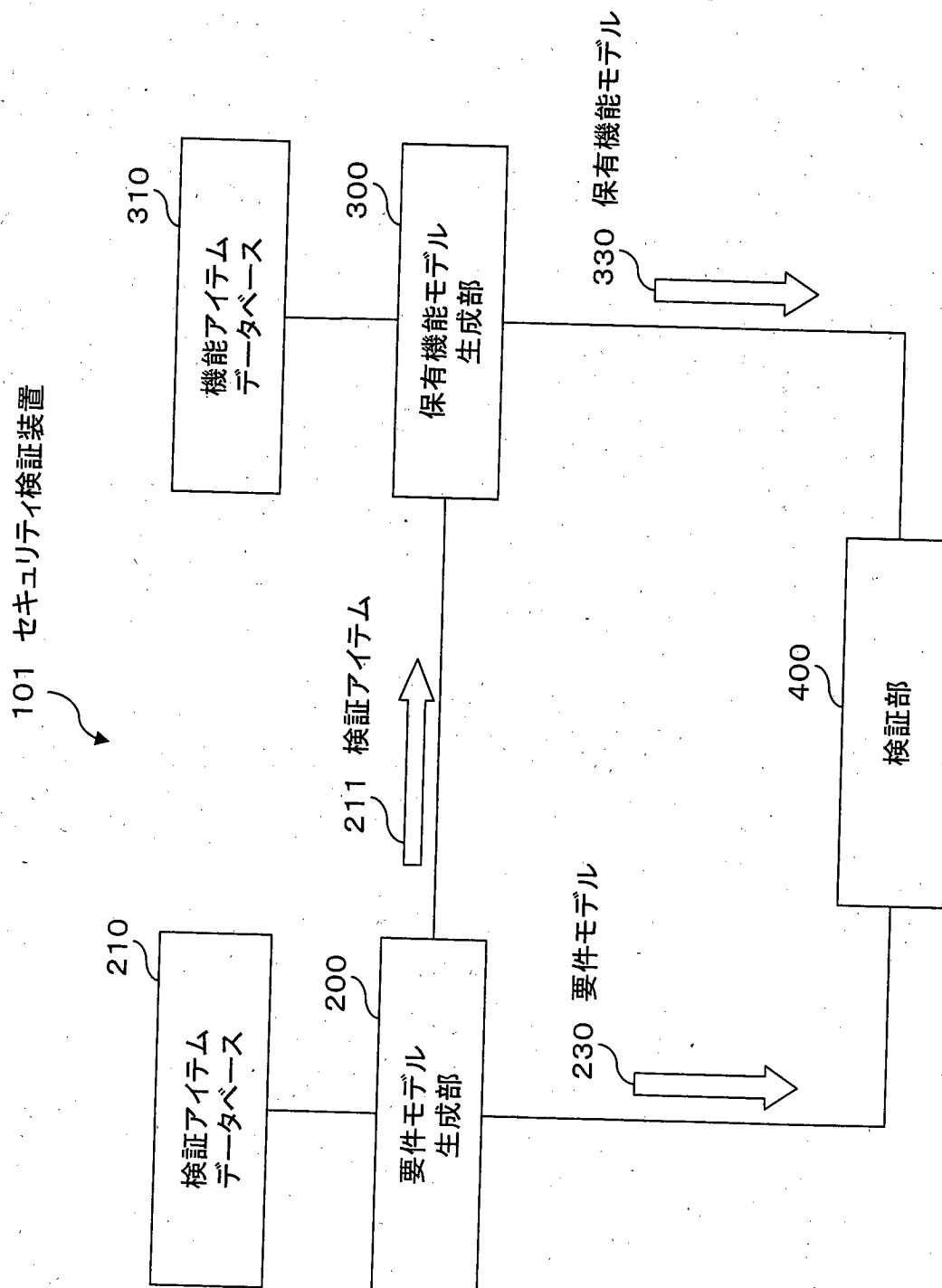


図1



2/15

図2

110 システム要件

“主体認証”により許可された利用者のみが、
“WEB”より、
“AP”のアプリを使用して、
“DB”の保護資産(申請情報)にアクセスする。

図3

140 セキュリティ対象モデル

142 接続元識別情報

143 接続先識別情報

インターネット	ルータ
ルータ	ファイアウォール1
ファイアウォール1	外部WWWサーバ
ファイアウォール1	ファイアウォール2
ファイアウォール2	APサーバ
ファイアウォール2	DBサーバ

図4

210 検証アイテムデータベース

212 セキュリティ機能名

213 実現方式

214 パーツ情報

通信経路分離	情報フロー制御	ファイアウォール
なりすまし防止	サーバ認証方式	全てのサーバ
マルウェア対策管理	対策ソフトウェア導入	全てのサーバ
主体認証	ID／パスワード方式	WWWサーバ、APサーバ、DBサーバ
管理者権限保護	管理権限制御	管理サーバ
保存情報完全性確保	デジタル署名	DBサーバ

図5

211 検証アイテム

212 セキュリティ機能名

213 実現方式

214 パーツ情報

主体認証	ID／パスワード方式	WWWサーバ、APサーバ、DBサーバ
------	------------	--------------------

5/15

図6

230 要件モデル

232 パーツ識別情報	233 セキュリティ機能名	234 実現方式
外部WWWサーバ	主体認証	ID／パスワード方式
APサーバ	主体認証	ID／パスワード方式
DBサーバ	主体認証	ID／パスワード方式

図7

310 機能アイテムデータベース

312 パーツ識別情報

313 セキュリティ機能名

314 実現手段

外部WWWサーバ	識別認証	ID/パスワード方式
外部WWWサーバ	暗号化	SSL/TLS通信
APサーバ	識別認証	ID/パスワード方式
DBサーバ	識別認証	ID/パスワード方式
APサーバ	識別認証	アカウントロック
DBサーバ	識別認証	アカウントロック
内部WWWサーバ	識別認証	ID/パスワード方式

7/15

図8

320 機能アイテム

312 パーツ識別情報 313 セキュリティ機能名 314 実現手段

外部WWWサーバ	識別認証	ID／パスワード方式
APサーバ	識別認証	ID／パスワード方式
DBサーバ	識別認証	ID／パスワード方式
内部WWWサーバ	識別認証	ID／パスワード方式

8/15

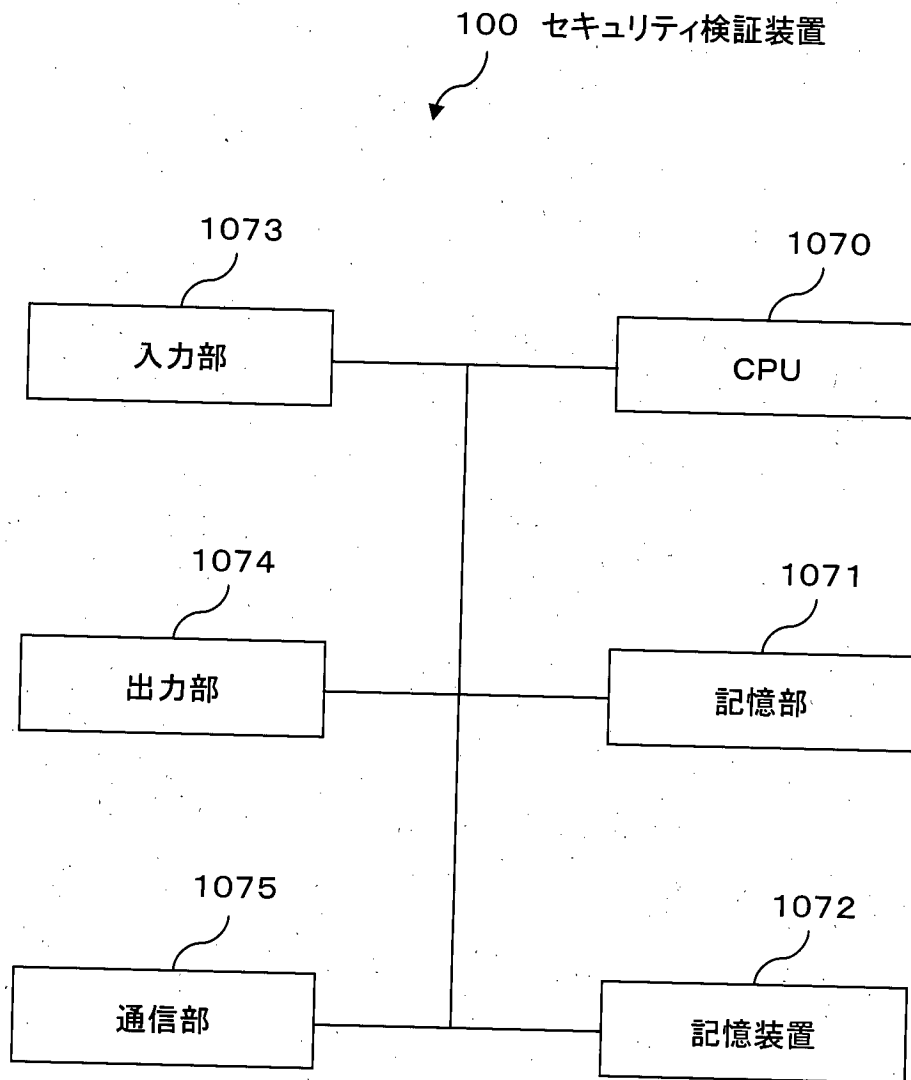
図9

330 保有機能モデル

332 パーツ識別情報	333 セキュリティ機能名	334 実現手段
外部WWWサーバ	識別認証	ID／パスワード方式
APサーバ	識別認証	ID／パスワード方式
DBサーバ	識別認証	ID／パスワード方式

9/15

図10



10/15

図11

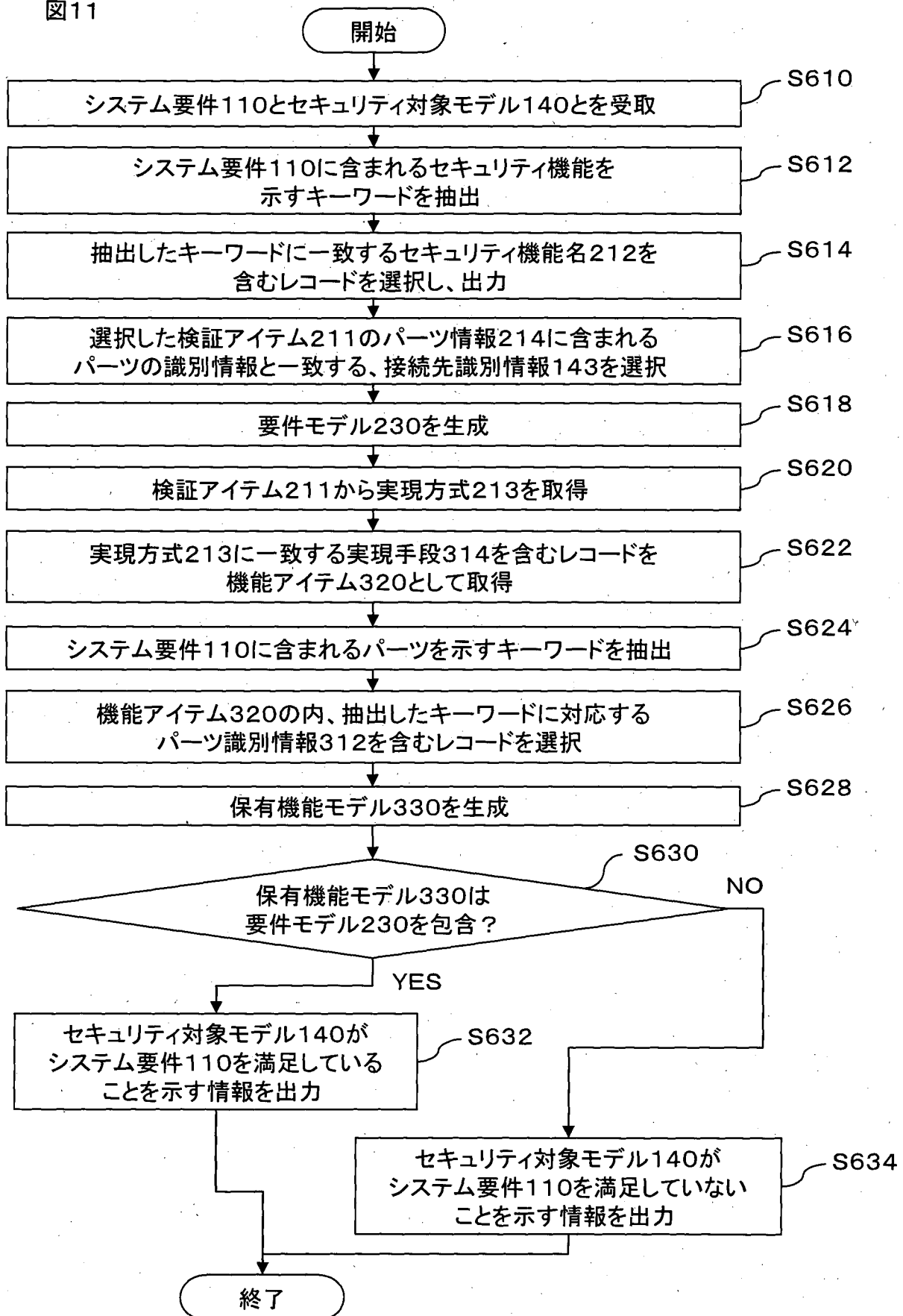
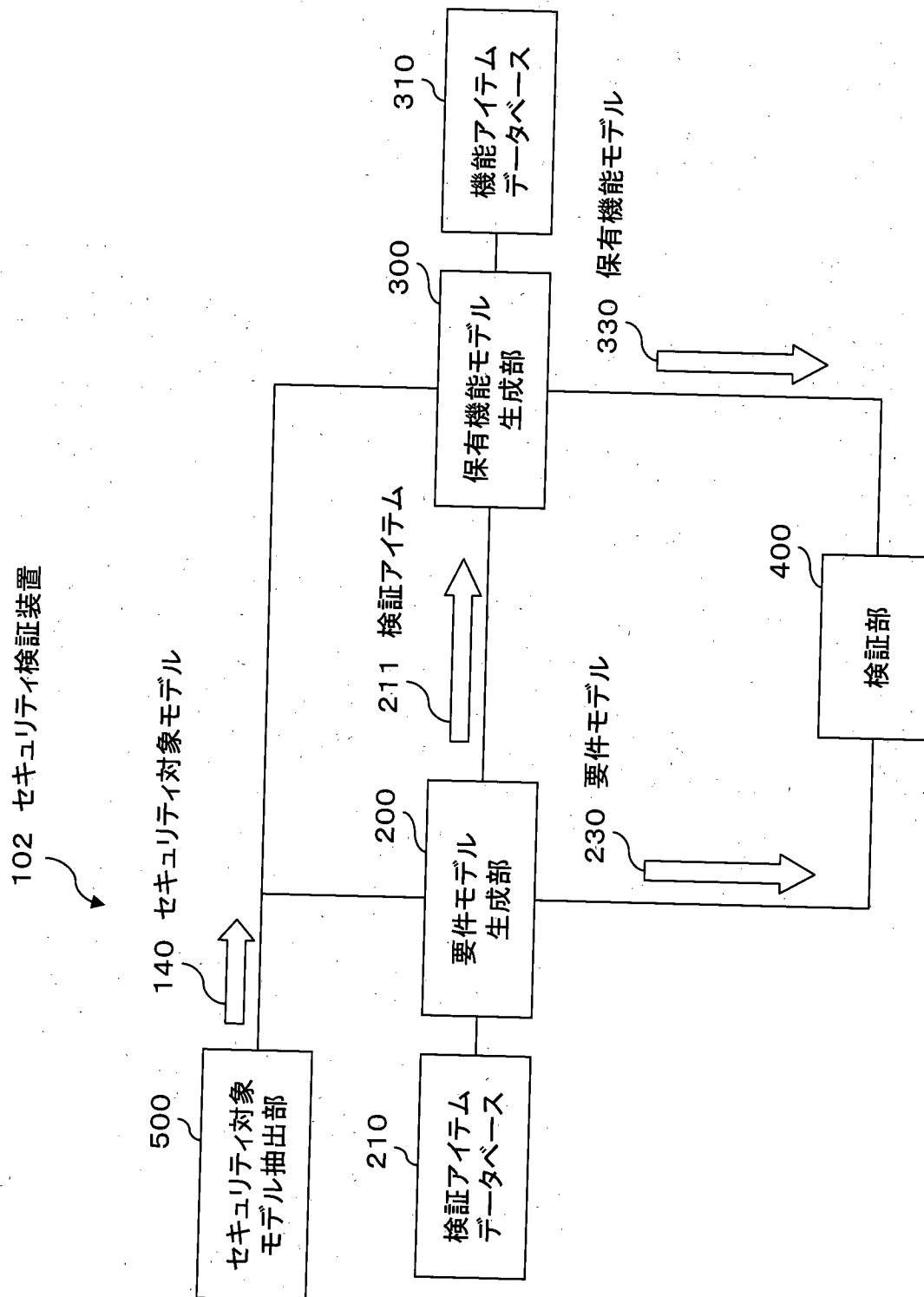


図12



12/15

図13

120 システムモデル

142 接続元識別情報 143 接続先識別情報

インターネット	ルータ
ルータ	ファイアウォール1
ファイアウォール1	NTP
ファイアウォール1	DNS
ファイアウォール1	外部WWWサーバ
ファイアウォール1	ファイアウォール2
ファイアウォール2	APサーバ
ファイアウォール2	DBサーバ
ファイアウォール2	内部WWWサーバ

図 14

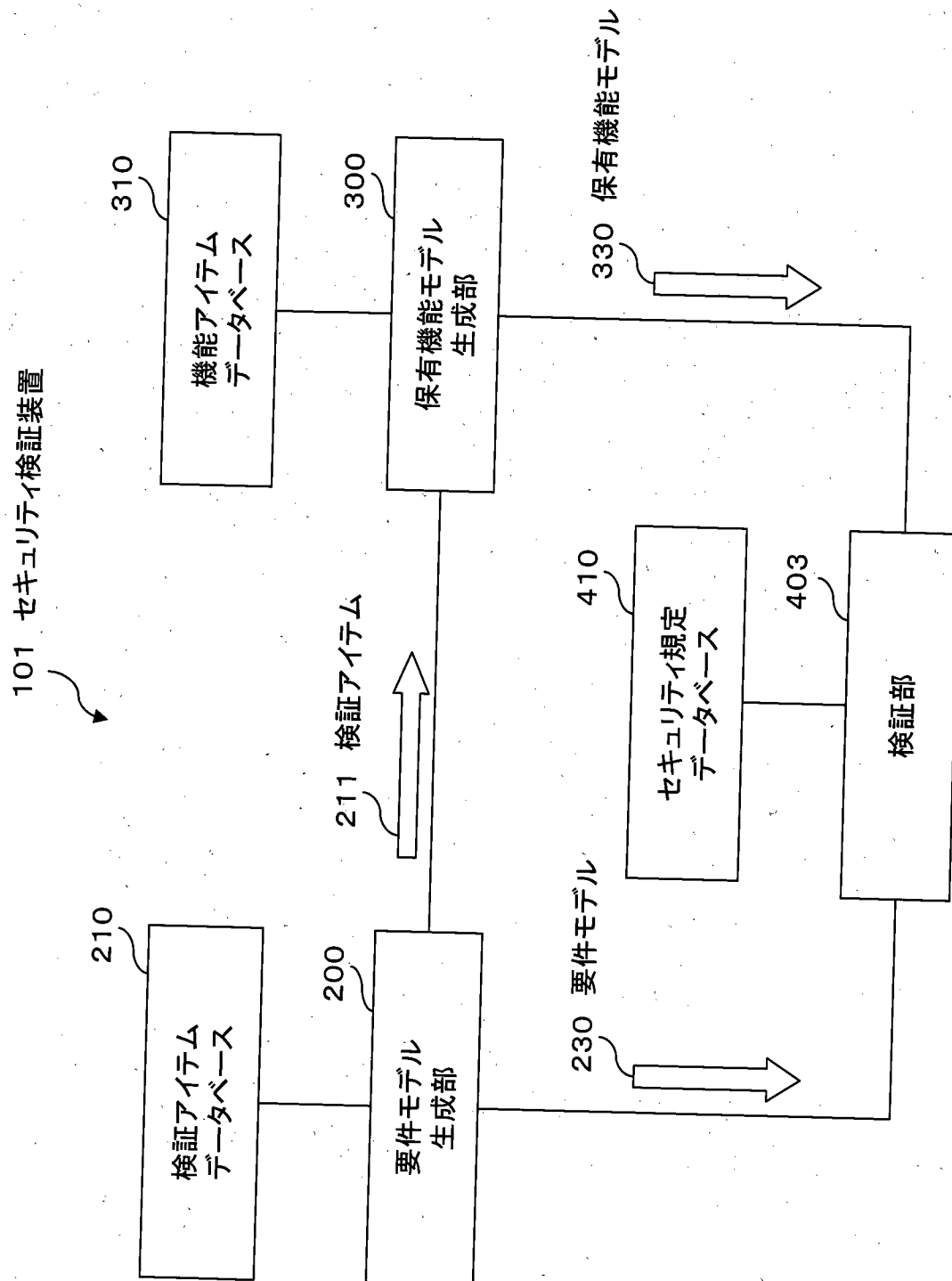


図15

410 セキュリティ規定データベース

412 セキュリティ機能名	413 規定識別情報
通信経路分離	2.3.4.1(1)(a)
なりすまし防止	2.3.3.2(1)(a)(Ⅰ)
マルウェア対策管理	2.2.2.2(1)(d)
主体認証	2.2.1.1(1)(a)
管理者権限保護	2.2.1.1(1)(Ⅱ)
保存情報完全性確保	2.2.1.6(1)(d)

15/15

図16

